

平成29年 津島市成人式

次代の若き担い手に
～はたちの誓い～



問合 社会教育課生涯学習G 内線2281～2283

▲新成人代表で誓いを述べる相馬阿門さん(右)と、谷口唯希さん(左)



1月8日(日)、津島市文化会館で平成29年津島市成人式を開催しました。今年、市内では総勢749人(男性383人、女性366人)が新たに大人の仲間入りをし、晴れ着姿の新成人に会場は大いに華やきました。

第一部の式典では、日比市長から「本日成人式を機に、大人になるとはどういうことなのか、自分はこれからどう生きるのかを問いかけて、社会人としての自覚を持ち、これからの人生を歩んでください」との式辞が贈られました。

新成人代表からは「古き良き伝統を持つ津島市で生まれ育ったことを誇りに思い、次代の若き担い手として社会に貢献します」と誓いの言葉が述べられました。

これからの政治に期待すること



みずたに ひなこ
水谷日菜子さん
(暁中)

高齢者を支えるには、子どもをもっと増やさないとけません。子どもを育てやすい環境を国が作る必要があると思います。



ひらの たかひろ
平野貴大さん
(天王中)

新しいことばかりでなく、現状維持も大切だと思います。まず、政治が悪い方向へ進まないような環境作りをしてほしいです。

新成人と市長の懇談会
平成28年11月14日(月)、市役所市長公室で約1時間30分にわたり、市長・教育長と成人式実行委員8人との懇談会が開かれました。懇談会では、「これからの政治に期待すること」「これまでの人生で感動したこと」「将来の夢」「成人としての責任や自覚について」をテーマに語ってもらいました。

※()内は出身中学校



第2部の実行委員企画イベントでは、市内4中学校出身の新成人代表8人が企画した2択クイズが行われ、スクリーンに映し出された母校の映像や、恩師によるクイズの解説に会場は大いに盛り上がりました。イベント終盤には、会場2階から式を観覧されていた恩師より、会場の新成人に向けてお祝いの言葉が述べられました。

▼恩師の登場に、会場は騒然となりました



▲実行委員が企画した2択クイズ



将来の夢



おおしまなな
大島菜々さん
(神守中)

将来は看護師になりたいです。これからは人の役に立つこと、また人の上に立つことも考えながら、過ごしたいです。



あさのりょうへい
浅野竜平さん
(藤浪中)

夢は、一家の大黒柱になり、幸せな家庭を築くことです。そして、歳をとっても趣味に打ち込み、人との交流を大切にしたいです。



とうきゅうへい
東久保翔紀さん
(神守中)

学校祭の出し物です。1年間担当の長としてメンバーをまとめ、大功のうちを終えることができました。

成人としての責任や自覚について



たぐちゆき
谷口唯希さん
(藤浪中)

20歳になり、「子どもじゃないんだから」と言われることが増えました。10代の頃と違い、これからは人を気遣う側になるのだと思います。



そうまあもん
相馬阿門さん
(暁中)

大学入学と共に実家を離れてから1年が経ち、さらに20歳を迎え社会的にも大人になりました。改めて気を引き締めたいです。

これまでの人生で感動したこと



すずきかほこ
鈴木香那子さん
(天王中)

久々に吹奏楽部の先生にお会いした際、「楽器を教えに来てよー」と言っていただけのことです。楽器を続けていて良かったと思いました。